

<ラジオを聴くための工夫>

ラジオは手軽に持ち運べて停電時にも使用することができ、災害発生時における情報収集に有効な手段となるため、日頃からラジオの受信状況を確認しておくことが大切です。

ラジオにはAM波とFM波があり、ラジオ放送局の周波数も地域によって違います。

また、昼と夜では聴こえるラジオ放送局の周波数が違うこともあります。

平時から聴取可能なラジオ放送局をひとつでも確認しておくことで、停電や災害発生時にラジオを十分に活用することができます。

聴きづらい原因を見つけて、聴こえるラジオ放送局を探してみてください。

◇ラジオ周波数情報

ラジオ局	周波数情報（各HPをご確認下さい）
NHK - AM・FM	https://www.nhk.or.jp/sapporo/station_info/channel.html 夜間は、東京R1(594kHz)、秋田R2(774kHz)の方が良く聴こえる場合もあります。 AM：第1放送 567kHz、第2放送 747kHz（札幌） FM：84.2MHz（岩内）
HBC	AM：http://www.hbc.co.jp/hbc/hbc-guide/radio-area/index.html FM：http://www.hbc.co.jp/radio/info/wideFM/ AM：1287KHz（札幌）
STV	STVのホームページから、“ラジオ”→“ラジオの聴き方”のページへ AM：http://www.stv.jp/radio/listenradio/am/index.html FM：http://www.stv.jp/radio/listenradio/fm/index.html AM：1440KHz（札幌）
AIR-G'	http://www.air-g.co.jp/company/frequency/ 80.4 MHz（札幌）
FMノースウエーブ	https://www.fmnorth.co.jp/gaiyo/area.asp 82.5MHz（札幌）、79.5MHz（小樽）

※ [] は岩内町内でラジオを聴く場合の周波数の例です。電波の受信状況は、周囲の建物や家電製品の設置状況により異なります。

◇ラジオを聴きやすくする方法

方法	聴きづらくなる原因
AM、FMを聴き比べてみる	FM波はAM波と比べ、ビルやマンション内でも聴きやすい傾向があります。
ラジオを窓際に置いてみる	ガラスは電波を通しやすいですが、鉄筋コンクリートは電波を弱めます（通しにくい）
ラジオの向きを変えてみる	ラジオに内蔵されているアンテナは向きによって受ける電波の強さが違います。外付けアンテナも効果的です。
ベランダに出て聴いてみる	総じて屋内より屋外の方が聴こえやすくなります。
家電製品の電源を抜いてみる	使用中の他の家電製品の影響で、ラジオが聞こえにくくなっている場合があります。家電製品の電源を切る、もしくはコンセントを抜いてご確認ください。
周波数を変えて聴いてみる	AM波は、夜は遠方まで届くようになり道外や外国の放送が混信してくるため、聴きづらい場合があります。
機器を変えてみる	小型ラジオは内蔵アンテナも小さく受信性能が低い場合があります。携帯ラジオ・小型ラジオ・大型ラジオなど、複数の機器で聴き比べてみてください。

◇インターネットでラジオを聴く

種類及びURL	受信内容
NHKネットラジオ『らじる★らじる』 http://www3.nhk.or.jp/netradio/	NHKラジオ第1・第2・FMの番組を聴くことができます。
民放ラジオ『radiko』 http://radiko.jp/	民放AM・FMラジオの番組を聴くことができます。 (iPhone、スマホではアプリをダウンロード)